

熊 All English 11/26 本大学留学生と交流

高千穂中学校の3年生が、熊本大学の留学生と文化交流会を行いました。

熊本大学では、地域教育の向上化支援や留学生の促進、留学生教育の充実を目的として、今回8回目となる「熊本大学高千穂塾」を高千穂中学校で実施。アメリカ、フランス、インドネシアなどからの留学生や日本人学生らが訪れました。

学生らの自己紹介や生徒による町や学校の紹介の後、6つのグループに分かれ、それぞれ考えただるまさんが転んだや長縄跳び、じゃんけん列車などのゲームで交流をしました。

生徒らは「All English」ということもあり、司会や遊びの紹介、ルール説明など、どのようにすればうまく伝えることができるかを考え、準備を進めてきました。

フルーツバスケットで交流をした佐藤琉圭さんは「やる気やパワーをもらい、とてもいい交流となった。ルール説明をどのようにするか苦労した。話し方に気を付け、ジェスチャーを交えながらすることを心掛けた」と話しました。



ク トヨタ未来スクール 11/21 クルマまるわかり教室

押方小学校の4・5年生が、トヨタ未来スクールの事務局や地元販売店スタッフを講師に迎えトヨタ未来スクール「クルマまるわかり教室」を行いました。

クルマと環境の関係やクルマの基礎知識などを学んだ後、自動車会社の経営者になりきり、環境のことを考えながらクルマの生産や販売で利益をあげる「カー&エコゲーム」を通して、経営判断が、業績や環境にどう影響するかを体験しながら、経済の関わりについても学びました。

甲斐巴菜さんは「楽しかった。ゲームではお金をたくさん増やすことを心掛けた。今後は、ペットボトルをリサイクルしたり、電気を無駄に使わないよう環境にやさしくしたい」と話し、富高民人さんは「ゲームで表彰されてよかった。イベント開催を心掛けた。エコバッグを利用したりSDGsを考えながら生活していきたい」と話しました。



ク 「I want 〜」 11/29 クリスマスの飾付け

押方小学校で、一足早いクリスマスツリーの飾り付けを行いました。

吉村ヴィクトリアさんらにクリスマスについて話をしてもらった後、カードにプレゼントやイラストを描きました。また、丸や三角などの色紙やシールを持ったサンタクロースやトナカイに「I want 〜」と言って、飾りに必要な材料をもらい装飾を完成させました。

坂本孝大さんは「ゲームソフトをお願いした。英語もうまく話せ楽しかった」と話し、飯干虎徹さんは「手品の道具をお願いした。プレゼントがくるのが楽しみ」と話しました。

学 宮崎大学教育学部 11/18 校体験教育学習

上野小学校と中学校に宮崎大学教育学部の1年生15人が訪れ、学校体験学習を行いました。

学生らは、学校見学をした後、各クラスを授業参観。児童・生徒が学ぶ様子を見ながらメモを取ったり、図工や体育の授業に参加するなどしました。

初めはお互い緊張した様子でしたが、時間がたつにつれ笑顔が出始め、昼休みには、おしゃべりや一輪車で遊んだり、追いかけっこやサッカーなどをして楽しんでいました。



森 森林の大切さを学ぶ 11/19 林学習

押方小学校の3・4年が、西臼杵支庁林務課の林政・普及担当の上杉副主幹と板橋主査を講師に迎え、森林学習を行いました。

学校に落ちていたドングリの名前当てクイズなどをして森林について学んだ後、アラカシやクヌギのドングリを植えました。

植えたドングリは、早ければ12月中旬に芽を出し、出ない場合は、来年4月頃に出るとのこと。なお、しいたけの原木として利用するには15年ほどかかると説明を受けたこどもたちは、驚いた様子でした。

安在紘さんは「たのしかった。どんぐりにはいろいろな種類があることがわかったのでよかった。15年後に様子を見てみたい」と話しました。

宮 高千穂高校 11/16 尾野農場祭

高千穂高校生産流通科の生徒が育てた米や野菜、花などの販売会が行われました。

新鮮で質の高い商品がお店より安く購入することができるところから、開始前から長蛇の列ができました。

好評の高千穂牛小間切れ肉の販売では、今年も数を増やしたものの20分程で完売。米や野菜もすぐに完売となりました。また、情報ソリューション科生徒の手作りホットドッグや延岡しろやま支援学校高千穂校の生徒や先生が、丹精込めて作った竹刀ストラップやリバイブドデスク・椅子、多肉植物などの販売も行われました。

農業クラブ会長で畜産班の甲斐蓮土さんは「たくさんの方が来てくれて、とてもにぎわっていてうれしい。今年も牛肉があっという間に完売し驚いた。もち米や野菜がもう少し出せるとよかった」と話しました。

